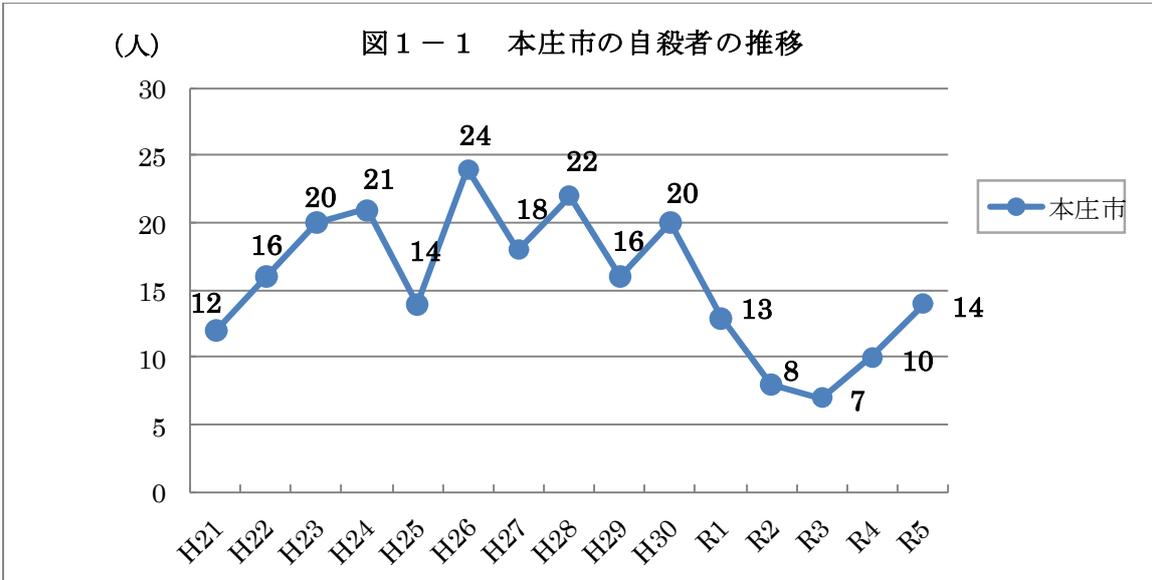


# (1) 本庄市における現状

## 統計から見る本庄市における現状

### ①自殺者の推移

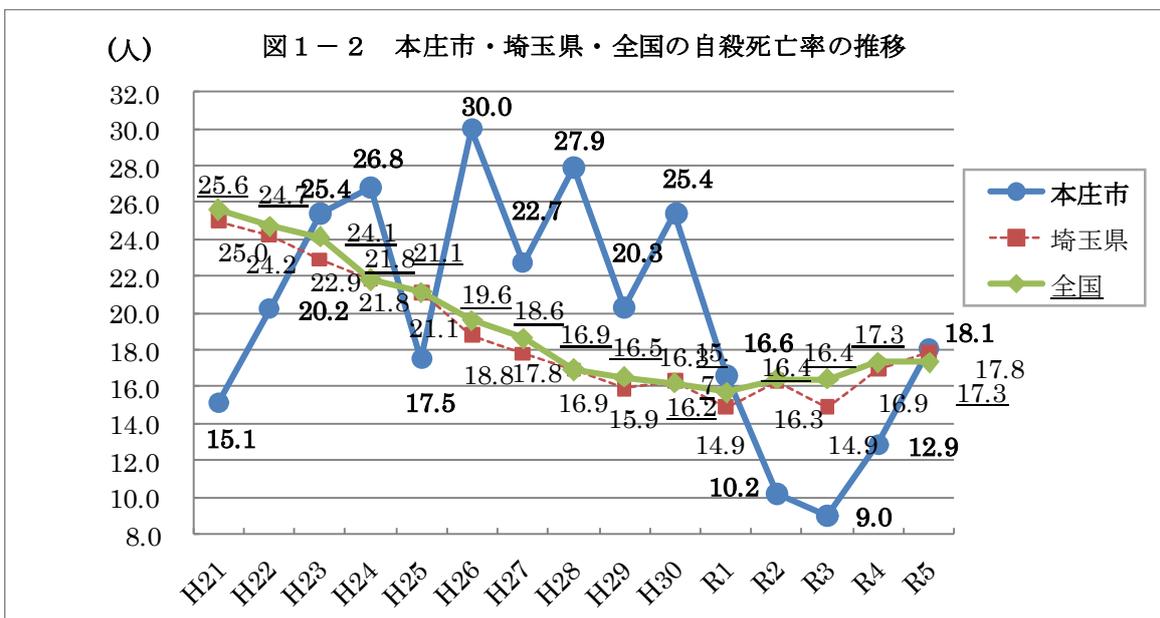
本市の自殺者数は、平成 21 年から平成 24 年までは増加傾向にあり、その後は増加と減少を繰り返し、平成 30 年以降は減少しています。令和 3 年からは増加傾向にあります。平成 21 年から令和 5 年の平均は、15.7 人となっています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

### ②自殺死亡率の推移

自殺死亡率とは、人口 10 万人あたりの自殺死亡者数のことです。本市の自殺死亡率は、平成 26 年にピークとなっており、令和元年までは埼玉県・全国の値を上回る数値で増加と減少を繰り返していました。令和 2 年～4 年は、埼玉県・全国の値を下回りましたが、令和 5 年は埼玉県・全国の値を上回っています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

### ③性別・年齢階級別の自殺者数

埼玉県令和5年の男性の自殺者数は女性の約2倍となっています（図1-3）。

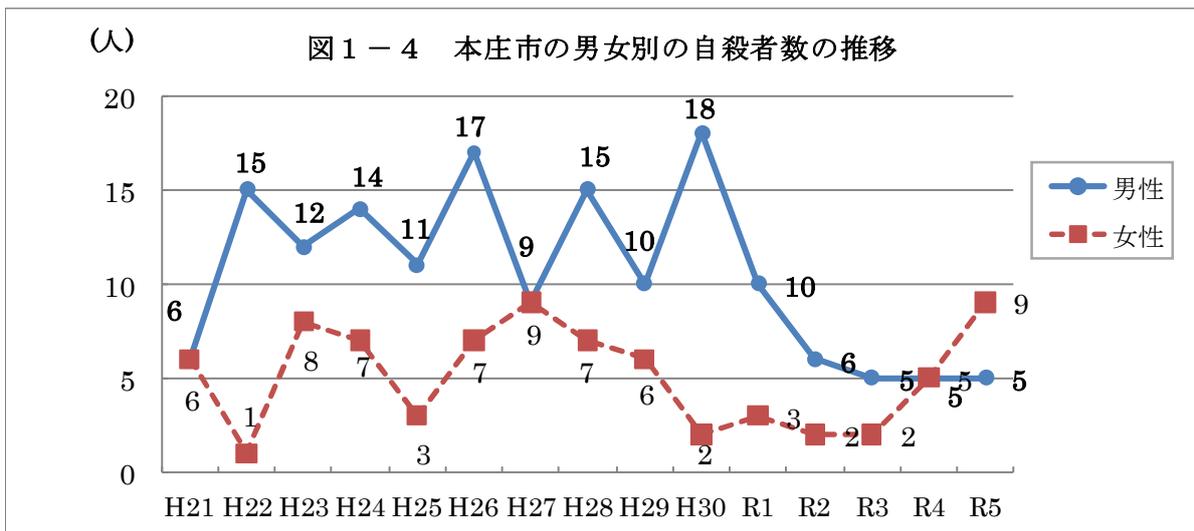
本市において自殺者数は、男性が多い傾向が続いていましたが、令和5年は女性が男性を上回りました（図1-4）。

性・年代別の自殺死亡率（図1-5）をみると、本市において、男性、女性ともに50代最も高くなっており、全国と比べても高くなっています。また、男性20歳未満、40代、60代、女性30代も全国と比べて高い傾向にあります。

図1-3 令和5年 本庄市・埼玉県の男女別の自殺者数状況

R5	本庄市		埼玉県	
	自殺者数	自殺死亡率	自殺者数	自殺死亡率
合計	14	18.06	1,317	17.84
男性	5	12.92	874	23.73
女性	9	23.18	443	11.98

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

図1-5 本庄市・全国の性・年代別の自殺死亡率（H30～R4年の平均）

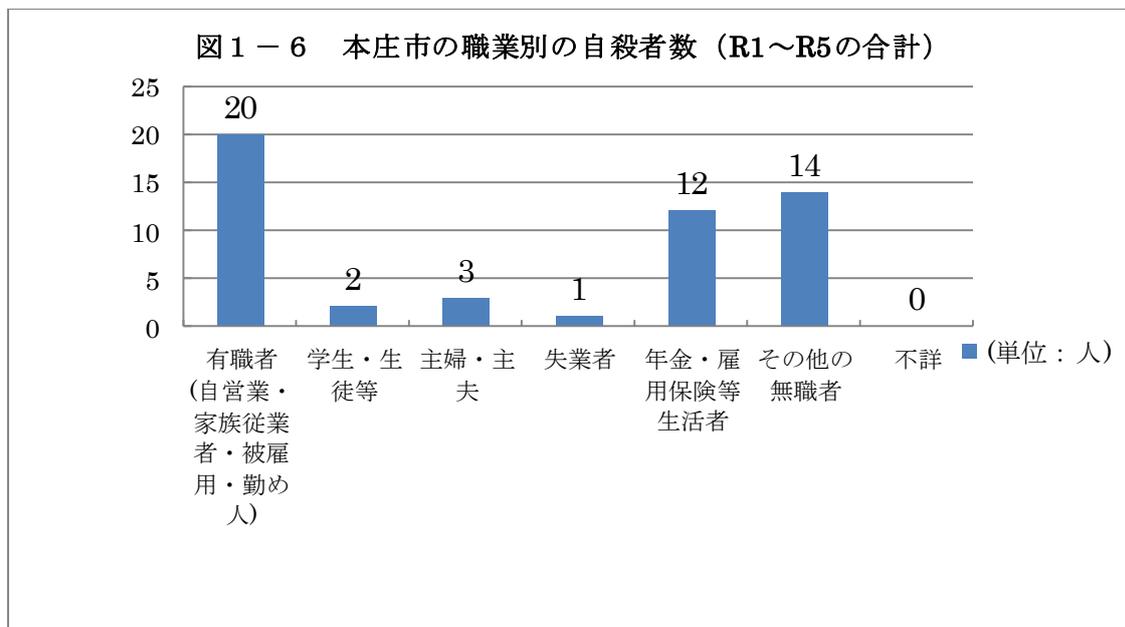


資料：地域自殺実態プロフィール

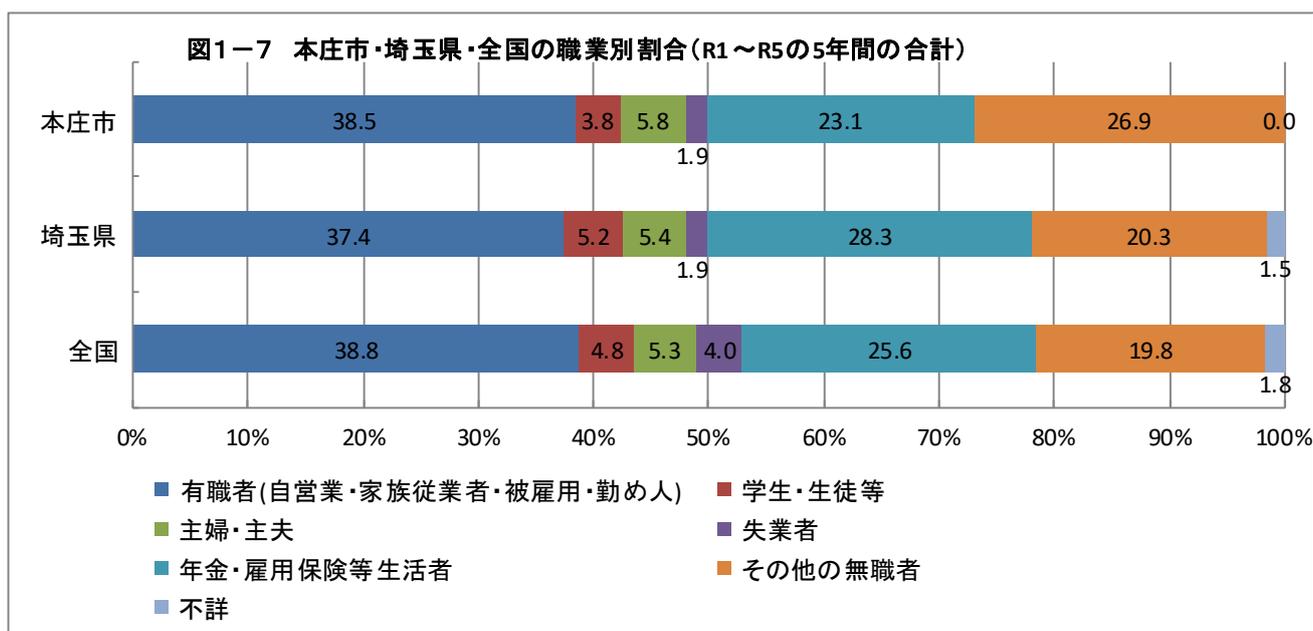
#### ④職業別の自殺者数の推移

本市の職業別の自殺者数をみると、「有職者(自営業・家族従業者・被雇用・勤め人)」が20人、「その他の無職者」が14人、「年金・雇用保険等生活者」が12人となっています(図1-6)。

また、本市と埼玉県、全国の職業別の自殺者数の割合を比較すると、本市では、「その他の無職者」の割合が高くなっています(図1-7)。



資料：地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

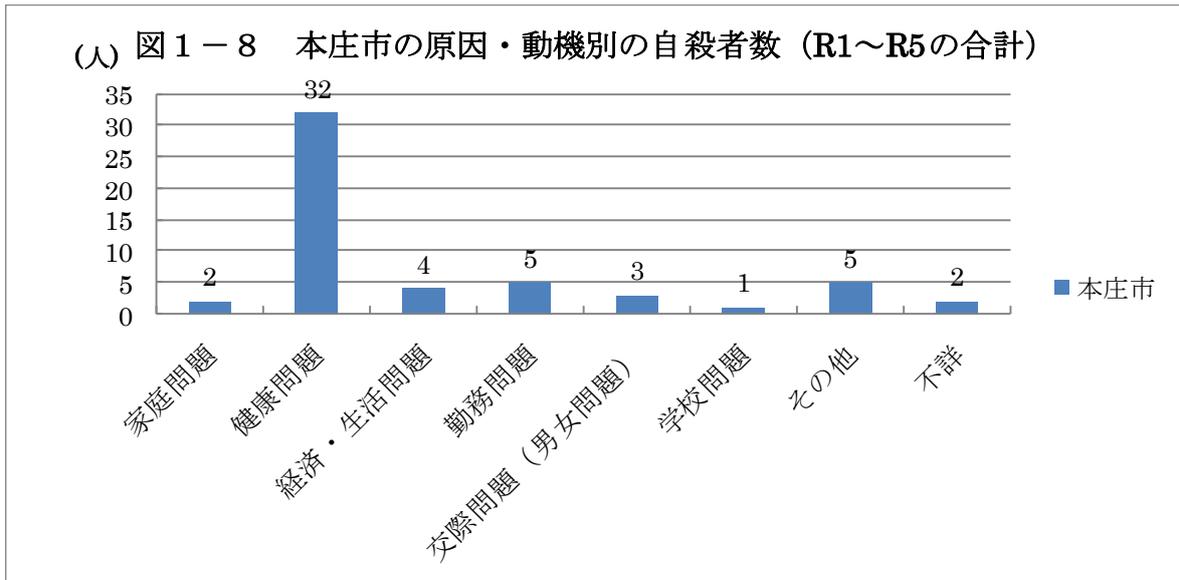


資料：地域における自殺の基礎資料 (厚生労働省自殺対策推進室)

### ⑤原因・動機別の自殺者数

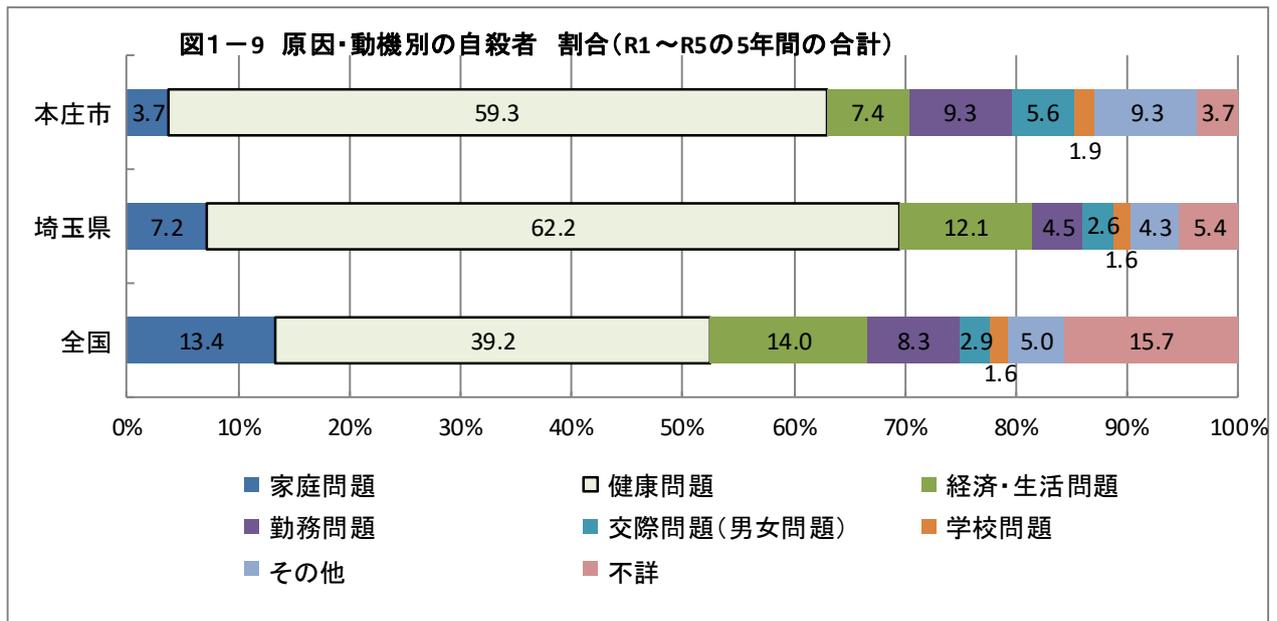
原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」が32人で最も多くなっています（図1-8）。

また、本市における原因・動機別の割合を埼玉県の割合と比較すると、「勤務問題」、「交際問題(男女問題)」、「その他」の割合が高く、全国の割合と比較すると、不詳の割合に差はありますが、「健康問題」、「勤務問題」、「交際問題(男女問題)」、「その他」の割合が高くなっています（図1-9）。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）

※原因・動機を複数抱えている場合があるため、合計が実際の自殺者数より多くなっています。



資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省自殺対策推進室）